

穀粒判別器 RN-300/310 ソフトウェア説明書



QualityScan
Ver1.9.0

目 次

最初にお読みください.....	4
必要システム	4
ご注意	5
『認定モード』について	5
1. QualityScan 測定方法	6
■測定手順	6
2. 測定オプション	8
■機能ボタン	8
■ QualityScan 設定.....	9
■測定値を「Excel」に貼り付ける	10
■自動で測定データと画像データを保存する	10
■測定データを自動で印刷する	11
■成分分析計 AN-800 のデータを取り込む	11
■測定結果の詳細を見る（サムネイル表示）	12
3. QualityScan 台帳の編集.....	13
■「QualityScan 台帳」とは・・・？	13
■「台帳 QScan」を編集する	14
4. 成分分析計 AN-800/700 との接続方法	16
■ AN-800 と接続する	16
■ AN-700 と接続する	16
■ [ハードウェアの更新ウィザード] が表示されたら（USB-RS232C 変換ケーブル）	17
5. ファンクションキー（ショートカットキー）	20
6. エラーメッセージ	21

最初にお読みください

このたびは「穀粒判別器 RN-300/310」をお買い上げいただきありがとうございます。
穀粒判別器 RN-300/310 は、米の外観品質を高精細画像で色と形状によって粒質を識別し、その結果を粒質表示付き画像と集計結果表として画面に表示します。本書では、RN-300/310 の測定プログラム「QualityScan」の使用方法について説明しています。
お使いになる前に、「穀粒判別器 RN-300 取扱説明書」または「穀粒判別器 RN-310 取扱説明書」をお読みいただき、製品パッケージの内容をご確認ください。また、それぞれの取扱説明書にしたがって機器をセットし、測定の準備を終えてから本書の測定を行ってください。

また、本器の制御用コンピュータ、オペレーティングシステム（Microsoft Windows XP または Windows 2000）、アプリケーションソフト（Microsoft Office または Excel）の使用方法については、付属のそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

必要システム

RN-300/310 ソフトウェア「QualityScan」が対応するコンピュータ機種および実行に必要な周辺機器は以下の通りです。

- 動作環境：Microsoft Windows XP または Windows 2000
- 本体：Microsoft Windows XP または Windows 2000 が動作するコンピュータ
- 512MB 以上の実装メモリが必要
- 40GB 以上のハードディスクの空き容量が必要
- ディスプレイ：1024 × 768 ピクセル以上の解像度で表示可能なカラーディスプレイ（推奨）
- プリンタ：Microsoft Windows XP または Windows 2000 が認識可能なプリンタ

ご注意

1. このソフトウェア「QualityScan」の著作権は、株式会社ケツト科学研究所にあります。
2. このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用し、複製することはできません。
3. ソフトウェアは、コンピュータ 1 台につき 1 セット購入が原則となります。
4. 本書中で使用している画面およびファイル構成は、実際と異なる場合があります。
5. このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
6. このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
7. このソフトウェアがお客様により不適当に使用されたり、マニュアルの指示に従わずに取り扱われた場合、または株式会社ケツト科学研究所や株式会社ケツト科学研究所が指定する者以外の第三者により、修正・変更されたこと等に起因して生じた障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft Windows XP、Windows 2000 の名称、ロゴは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

『認定モード』について

本器は国の検査関連機器研究開発事業で開発したもので、財団法人全国瑞穂食糧検査協会による認定機器です。本器の『認定モード』は農産物検査法に基づく検査において、検査補助機器として使用されるものです。尚、本器は検査補助機器であり、検査結果につきましては当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

認定番号	RN-300 030101	RN-310 030102
認定日	平成 15 年 2 月 4 日	
測定対象	水稻うるち玄米	

1. QualityScan 測定方法

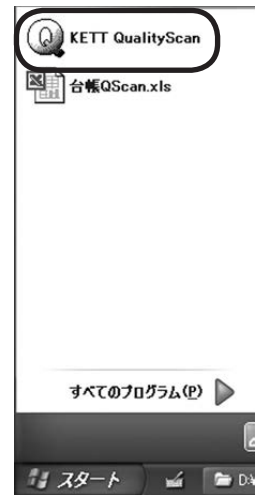
■ 測定手順

* 測定の前に、別冊の本器取扱説明書をよくお読みいただき、測定の準備を終えてから測定を行ってください。

1. RN-300/310 本体の電源を入れると「QualityScan」が起動し、[EXCEL ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。(表示されない場合は、 ボタンから  KETT QualityScan をクリックしてください。)

2. ファイル名(初期設定は「QBook.xls」)を入力して[作成] ボタンをクリックするか、または[キャンセル] ボタンをクリックすると、[QualityScan 起動] 画面が表示されます。

* [EXCEL ファイルを開く] ダイアログボックスは、QualityScan での測定結果を Excel のワークシートに自動入力するためのものです。(⇒ P10)



3. ここで、[玄米測定] [精米測定] [認定モード] のいずれかを選択し、クリックします。

* ここでは、[玄米測定] を選択した場合を例に説明しています。[精米測定] [認定モード] での測定は、各モードの名称、ボタンに読み替えて進めてください。

* 「玄米測定」のときは、玄米用測定トレー（取手が黄）と玄米用撮像カバー（反射板が白）、「精米測定」のときは、精米用測定トレー（取手が青）と精米用撮像カバー（反射板が青）をご使用ください。

* **【メンテナンス】ボタンは、通常の測定では使用しません。**このボタンは本器の選別レベルを変更するもので、特別（独自）な検量線を作成したい場合に使用します。その場合は、必ず当社までお問い合わせください。



4. 「動作確認中ですしばらくお待ちください」を数秒表示したのち、測定画面が表示されます。

5. [玄米測定] ボタンをクリックして測定を開始します。



6. 「測定情報入力」画面が表示されますので、サンプル番号を入力します。

* サンプル番号は、半角で 5 ～ 20 文字 (全角で 3 ～ 10 文字) までの入力が可能です。内蔵プリンタでの印字の際は半角 16 文字 (全角 8 文字) までしか印字されません。

7. RN-300/310 撮像部のガラス面に、試料をのせた測定トレイをセットします。

* 測定試料についての説明は、別冊の本器取扱説明書をお読みください。

8. 「OK」 ボタンをクリックすると、「画像を読み込んでいます しばらくお待ちください」を表示し測定が始まります。

9. 測定が終了すると、測定結果が表示されます。



* 台帳登録すると、台帳の左から 4 項目までの情報が、入力した番号に対応して表示されます。

判別結果

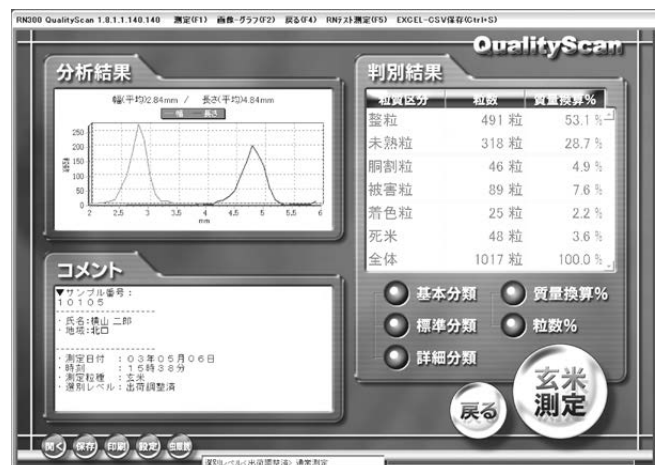
測定結果が表示されます。「基本分類」「標準分類」「詳細分類」「質量換算%」「粒数%」のいずれかをクリックして表示方法を選択します。初期設定では、「標準分類」「質量換算%」が選択されています。

分析結果

米粒の幅、長さの平均値および度数分布が表示されます。また F2 キーを押すと、画像表示に切り替えることができます。

コメント

測定日付、時刻、測定粒種、選別レベル名等が表示されます。また、次項で作成する「台帳 QScan」に登録した「サンプル番号」に対応する項目の内容が表示されます。AN-800/AN-700 に接続 (⇒ P16) していれば、成分分析の測定結果も表示されます。



2. 測定オプション

■ 機能ボタン

測定終了後、画面左下のボタンで測定データを保存したり、プリントすることができます。

また、QualityScan の設定や測定結果の詳細を見るサムネイル表示もこのボタンで行います。

* ここでは、[玄米測定] を選択した場合を例に説明しています。
[精米測定] [認定モード] での測定は、各モードの名称、ボタンに読み替えて進めてください。



ボタン	機 能
	保存した測定データファイルを開きます。 ファイルを選択して、[開く] をクリックします。
	測定した測定値と画像データを保存します。 「C:¥Documents and Setting¥RN300¥QualityScan¥Save Data」フォルダ内に保存されます。
	内蔵プリンタで、測定結果をプリントします。 プリンタ用紙の紙送りは、プリンタの [SELECT] ボタンを押してから (赤ランプ点灯)、 [PAPER FEED] を押します。
	[QualityScan 設定] 画面を表示し、各種設定を行います。(⇒ P9)
	測定結果とサムネイル画面を表示します。(⇒ P12)

■ QualityScan 設定

設定 ボタンをクリックすると、[QualityScan 設定] 画面が表示され、データの取り込み、平均値、自動保存などの内容を設定することができます。

①通常ボタン

1 回の測定ごとに結果を出したいとき選択します。
「①通常」の枠内を設定できます。

【通常処理】

自動保存と印刷枚数(1 ～ 3 枚)の選択ができます。

②平均ボタン

複数回測定後の平均値を出したいとき選択します。
「②平均」の枠内を設定できます。

【1 ～ 5 回目まで】

平均回数が 5 回目までの測定で、平均を出す前の個々のデータの自動保存と印刷枚数(1 ～ 3 枚)の選択ができます。

【測定回数】

2 ～ 5 回の測定で、平均回数の設定ができます。
△▽ボタンを押して希望の平均回数に設定します。
回数設定を解除するときは、[クリア] ボタンをクリックします。

【平均値】

全平均値の自動保存と印刷枚数(1 ～ 3 枚)の選択ができます。

*全平均値の自動保存では、画像データは保存されません。

【Excel 貼付】

Excel に貼り付ける項目にチェックを入れます。(⇒ P10)

また、成分分析計の測定データを取り込むには、△▽ボタンを押して「AN-800」は 1 に、「AN-700」は 2 に合わせます。

接続したポート番号「Com 番号」を△▽ボタンを押して設定します。

*ポート(Com)番号は、P18、手順 4 ～ 6 で調べることができます。

設定が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。
設定内容を確認しない場合は[キャンセル] ボタンをクリックします。



②平均ボタン
①通常ボタン



■ 測定値を「Excel」に貼り付ける

1. 測定値を Excel のワークシートに、自動で貼り付けることができます。

「QualityScan」 起動時に、「[EXCEL ファイルを開く]」ダイアログボックスから「QBook.xls」を作成した場合、測定値は右のような Excel ワークシートに自動的に保存されます。Excel ワークシートに自動入力しない場合は、「[キャンセル]」ボタンをクリックします。



2. 「基本分類」「標準分類」「詳細分類」のすべての項目を、Excel に貼り付けることができます。

Excel に貼り付けるデータの種類の、[QualityScan
設定] 画面で設定を行います。

(P9 ■ QualityScan の設定を参照)



■ 自動で測定データと画像データを保存する

[QualityScan 設定] 画面で「通常」か「平均」を選択した後、いずれかの「自動保存」にチェックを入れると、測定データと画像データが自動で保存されます。ただし、「平均値」の自動保存では、画像データは保存されませんので、 ボタンを押して保存してください。

*保存データは、「C:\Documents and Setting¥RN300
¥QualityScan¥SaveData」フォルダ内にあります。



■ 測定データを自動で印刷する

[QualityScan 設定] 画面で「通常」か「平均」を選択した後、いずれかの「印刷枚数 (1 ~ 3 枚)」にチェックを入れると測定データが自動で印刷されます。

「印刷なし」の設定で測定し、あとで印刷したい場合は **印刷** ボタンをクリックして、必要な枚数をプリントします。

【 印字例 】

《穀粒判別器》
RN300 QualityScan 19.02.144.144

▼ サンプル番号
00002

・氏名: 佐藤
・地域: 生産技術
・非表示: 精米
・非表示: t t t t
・非表示: あああ

・測定日付: 2014年03月17日
・時刻: 10時29分
・測定粒種: 精米
・選別レベル: 精米出荷調整済

▼ 計算方法: 質量換算%

・正常粒	809粒	72.9%
・粉状質粒	222粒	19.3%
・被害粒	13粒	0.9%
・碎粒	45粒	1.9%
・着色粒	58粒	4.5%
・異種穀粒	5粒	0.5%
・合計	1152粒	100.0%

・正常(亀裂): 67粒 5.8%

・胚芽残存率: --- 5.6%

《株式会社ケット科学研究所》

■ 成分分析計 AN-800/700 のデータを取り込む

- 成分分析計 AN-800/700 の測定データを取り込むには、[QualityScan 設定] 画面の「Excel 貼付」欄で、△▽ボタンを押して「AN-800」は1に、「AN-700」は2に合わせます。
接続したポート番号「Com 番号」を△▽ボタンを押して設定し、[OK] をクリックします。

*ポート(Com)番号は、P18、手順 4 ~ 6 で調べることができます。

QualityScan 設定

通常処理
☒ 自動保存
☐ 印刷なし ☐ 1枚 ☐ 2枚 ☐ 3枚

測定回数
 現在の測定回数 0回
 平均回数の設定 4回 **クリア**

1~5回目まで
☒ 自動保存
☐ 印刷なし ☐ 1枚 ☐ 2枚 ☐ 3枚

平均値
☒ 自動保存
☐ 印刷なし ☐ 1枚 ☐ 2枚 ☐ 3枚

Excel貼付
☐ 粒数 ☒ 粒数% ☐ 質量% ☐ 平均粒数 ☒ 平均粒数% ☐ 平均質量%
 0なし 1:AN800 2:AN700 0 **Com** 4

通常 **平均** **OK** **キャンセル**

2. ● AN-800 と接続した場合

「玄米測定」ボタンをクリックすると、「AN-800」と撮像用スキャナが同時に動作し、測定を行います。測定終了後、成分分析測定データは「コメント欄」と「EXCEL ワークシート」にそれぞれ表示されます。

● AN-700 と接続した場合

「玄米測定」ボタンをクリックすると同時に、「AN-700」の測定を開始してください。「AN-700」のデータが転送されると、「コメント欄」と「EXCEL ワークシート」にそれぞれ表示されます。

* AN-700 は、自動では測定を開始しませんのでご注意ください。

Microsoft Excel - QBook.xls

Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS
1	未熟	未熟	死米	白色	白色	白色	被害	被害	被害	被害	被害	被害	被害	被害	被害	水分	水分	水分	水分	水分
2	5.8	14.4	0.1	3.4	0.0	2.4	0.0	0.0	5.5	8.0	0.0	1.6	0.0	0.1						
3	5.4	12.9	0.1	2.6	0.0	2.1	0.0	0.0	5.9	7.2	0.0	1.1	0.0	0.1						
4	5.9	15.6	0.3	3.8	0.0	2.4	0.0	0.0	4.9	7.0	0.0	1.8	0.0	0.1						
5	5.5	13.9	0.2	2.9	0.0	2.1	0.0	0.0	5.3	6.3	0.0	1.2	0.0	0.1						
6	6.8	15.1	0.1	4.6	0.0	2.5	0.0	0.0	4.5	7.1	0.0	1.6	0.0	0.0						
7	6.4	13.6	0.1	3.6	0.0	2.2	0.0	0.0	4.9	6.4	0.0	1.1	0.0	0.0						
8	6.3	14.2	0.2	5.4	0.0	2.2	0.0	0.1	0.0	3.8	7.2	0.0	1.7	0.0	0.3	8.2	15.4	18.6	22.5	7.1
9	6.0	12.8	0.1	4.2	0.0	2.0	0.0	0.1	0.0	4.2	6.5	0.0	1.2	0.0	0.3	8.2	15.4	18.6	22.5	7.1

QualityScan

分析結果
 幅平均径 64mm / 長さ平均径 4.03mm
 図表 A23

判別結果

粒種区分	粒数	質量換算%
接粒	475 粒	51.8 %
未熟粒	339 粒	30.9 %
胴割粒	31 粒	3.3 %
被害粒	88 粒	7.5 %
着色粒	21 粒	1.9 %
死米	60 粒	4.6 %
全体	1014 粒	100.0 %

コメント
 ・測定日付: 2014年05月06日
 ・時刻: 16時38分
 ・測定粒種: 玄米
 ・選別レベル: 出荷調整済

▼ 成分分析計: 玄米
 ・水分: 15.6 %
 ・アミロース: 18.4 %
 ・脂肪分: 2.2 %
 ・評価値: 7.2 点

基本分類 **質量換算%**
標準分類 **粒数%**
詳細分類

玄米測定

■ 測定結果の詳細を見る（サムネイル表示）

測定終了後、測定結果の詳細を見ることができます。

虫眼鏡 ボタンをクリックすると、[サムネイル表示] 画面が表示されます。測定トレイのひとつひとつのディンプル（1148 個の小穴）には、個別の番地が付けられており、測定結果の [サムネイル表示] 画面のひとつひとつの「①画像」と、1行ごとの「②測定値」は対になっています。

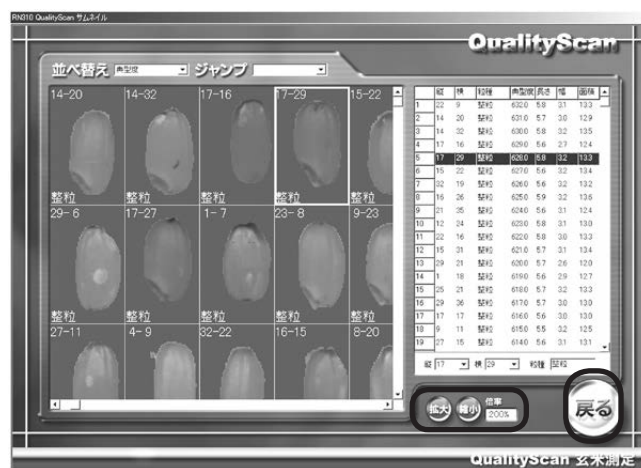
1. 「①画像」は、アクション選択の [並べ替え] を使用すると、「序列順」「典型度」「長さ」「幅」「面積」の表示順に並び替えることができます。
2. アクション選択の [ジャンプ] を使用すると、プルダウンメニューで選択したカテゴリー「整粒」「未熟(乳)」「未熟(他)」・・・「VOID」の先頭へジャンプすることができます。

- * [並べ替え] と合わせて使用すると、より見やすくなります。
- * [ジャンプ] 機能は、判定された結果の同じグループの最初にヒットしたものにしかジャンプしません。
- * 「VOID」は、「整粒」「未熟(乳)」「未熟(他)」・・・のどのカテゴリーにも判別できなかったものです。

3. 「①画像」で任意の米を選択すると、選択した米の測定結果が「②測定値」にハイライト表示されます。その逆も可能です。また、「③選択」で表示したい米を選択することもできます。

4. 「①画像」で任意の米を選択して、**拡大** ボタンをクリックすると、50%きざみで 50 ～ 300%まで画像を拡大することができます。また、**縮小** ボタンをクリックすると縮小することができます。

5. **戻る** ボタンをクリックすると、[測定結果] 画面に戻ります。



3. QualityScan 台帳の編集

■「QualityScan」台帳とは・・・？

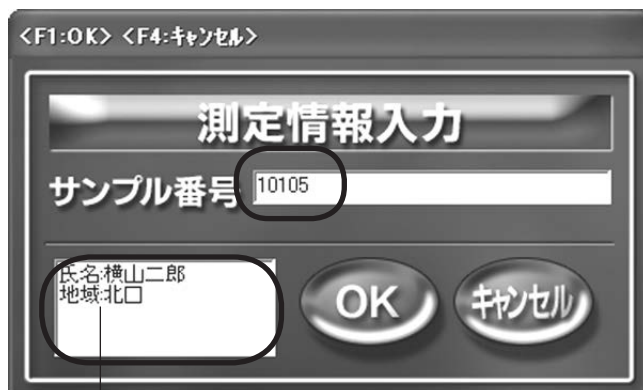
「QualityScan」台帳は、サンプル番号に対応する顧客情報(氏名や地域など)を登録しておく台帳です。ここで作成する「台帳 QScan」ファイルは、QualityScan 測定時に入力する「サンプル番号」に対応していますので、「台帳 QScan」ファイルの入力内容は、QualityScan 測定終了時の測定結果[コメント欄]に反映されます。

1. 「玄米測定」ボタンをクリックします。

* ここでは、「玄米測定」を選択した場合を例に説明しています。
[精米測定][認定モード]での測定は、各モードの名称、ボタンに読み替えて進めてください。

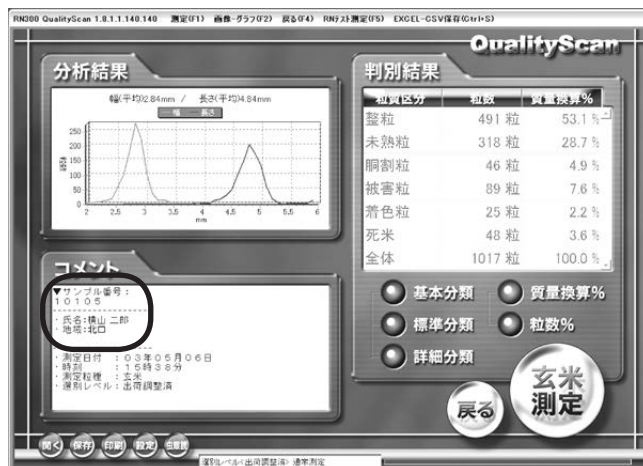


2. 「サンプル番号」を入力します。



* 台帳登録すると、台帳の左から 4 項目までの情報が、入力した番号に対応して表示されます。

3. 測定終了後、サンプル番号に対応した、「台帳 QScan」ファイルに登録している「氏名」「地域」がコメント欄に表示されます。



■「台帳 QScan」を編集する

1. QualityScan の台帳ファイルは、「台帳 QScan.xls」の名前の Excel ファイルで管理しています。

ボタンから  台帳QScan.xls をクリックして「台帳 QScan.xls」ファイルを呼び出し、台帳の編集を行います。

*「C:\¥Documents and Setting¥RN300¥QualityScan」フォルダ内に保管してあります。

2. EXCEL から「台帳 QScan.xls」ファイルが表示されます。出荷時には、あらかじめいくつかの項目がサンプルデータとして入力してあります。必要に応じて変更します。



サンプル番号	氏名	地産	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
1	10101 佐藤 隆二	北口								
2	10102 阿部 彰	北口								
3	10103 村上 武	北口								
4	10104 稲垣 隆志	北口								
5	10105 横山 二郎	北口								
6	10106 川原 健一	山口								
7	10107 中塚 洋子	山口								
8	10108 佐々木 良平	山口								
9	10109 長村 晴夫	山口								
10	10110 佐藤 隆夫	山口								
11	10111 小野寺 忠夫	山口								
12	10112 黒井 忠夫	村山								
13	10113 海老 栄治	村山								
14	10114 黒井 善八	村山								
15	10115 阿部 幸治	村山								
16	10116 工藤 和夫	村山								

3. 右図は「台帳 QScan」を編集例です。新しい項目を追加してみましょう。
まず、列番号 F に電話番号の項目欄を登録します。
項目名「電話」を入力した後、サンプル番号に対応した各々の「電話番号」を入力します。

*最大で 10 種類の項目を入力できます。(A 列～J 列まで)

*項目行が「非表示」または空白の項目は、Excel 貼付の際には表示されません。

*一度編集した登録内容を消したいときは、項目欄を空白にしないとその列を消去することができません。

サンプル番号	氏名	地産	非表示	非表示	電話	非表示	非表示	非表示	非表示	非表示
1	10101 佐藤 隆二	北口			3776-1123					
2	10102 阿部 彰	北口			3776-0123					
3	10103 村上 武	北口			3776-1111					
4	10104 稲垣 隆志	北口			3776-1181					
5	10105 横山 二郎	北口								
6	10106 川原 健一	山口								
7	10107 中塚 洋子	山口								
8	10108 佐々木 良平	山口								
9	10109 長村 晴夫	山口								
10	10110 佐藤 隆夫	山口								
11	10111 小野寺 忠夫	山口								
12	10112 黒井 忠夫	村山								
13	10113 海老 栄治	村山								
14	10114 黒井 善八	村山								
15	10115 阿部 幸治	村山								
16	10116 工藤 和夫	村山								

4. すべての編集が終了したら、メニューバーから「ファイル」→「上書き保存」をクリックして編集内容を保存します。続いて「ファイル」→「終了」をクリックして、作業を終了します。

*ファイル名「台帳 QScan.xls」を保存するときは、「上書き保存」のみの作業で、「名前を付けて別名保存」は、絶対に避けてください。

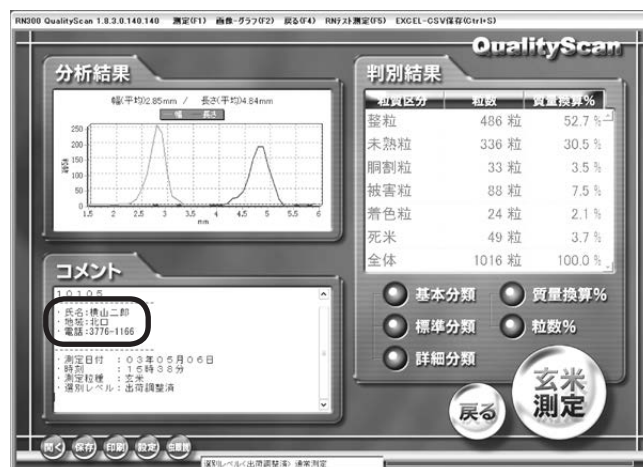
RN-300/310「QualityScan」は、起動時に「台帳 QScan.xls」を検索し「台帳 QScan.xls」からしかデータを取り込みません。

5. 「台帳 QScan」編集終了後、QualityScan を起動します。

*加筆、訂正、削除などして編集した台帳の内容を、測定結果に反映させるには、QualityScan を再起動させる必要があります。



6. 測定コメント欄に「電話番号」が追加されていることを確認します。

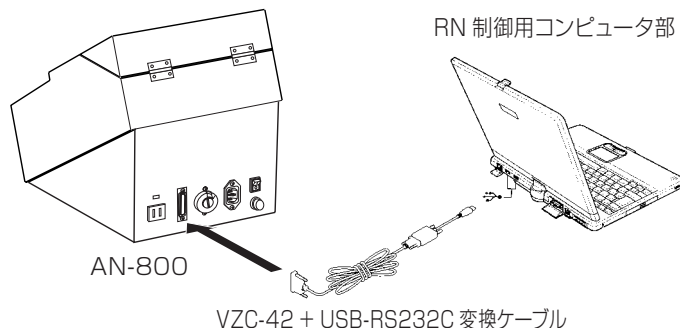


4. 成分分析計 AN-800/700 との接続方法

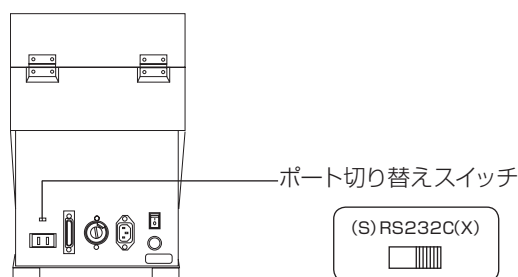
■ AN-800 と接続する

1. 図のように、制御用コンピュータと成分分析計 AN-800 を、VZC-42 (別売品) + USB-RS232C 変換ケーブル (別売品) を使って接続します。

* USB-RS232C 変換ケーブルは指定のもの (U232-P9) をご使用ください。他のものをご使用になると、トラブルの原因になることがありますのでお勧めしません。



2. 制御用コンピュータと AN-800 を接続したら、AN-800 の背面にあるポート切り替えスイッチを「X」側に設定します。
3. 次に、AN-800 のオプション設定で、「1: PC1 (コントロール)」に設定します。
4. RN-300/310 で測定を開始すると、自動で AN-800 の測定も始まります。



* AN-800 に関する説明は、別冊「成分分析計 AN-800 取扱説明書」をお読みください。

* 出荷時には、USB-RS232C 変換ケーブルを制御用コンピュータの USB ポートに差し込むだけで使用できるようになっています。USB-RS232C 変換ケーブルを制御用コンピュータの USB ポートに差し込んだ時、[ハードウェアの更新ウィザード]、または [新しいハードウェア検索ウィザードの開始] 画面が表示された場合は、P17 の手順で更新します。

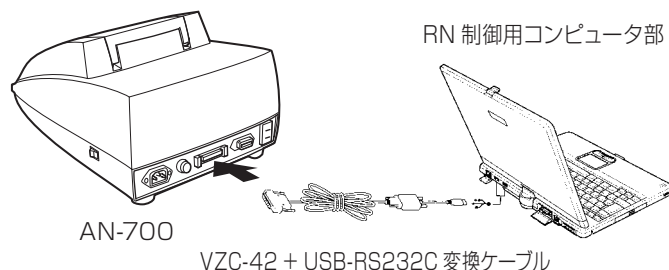
■ AN-700 と接続する

1. 図のように、制御用コンピュータと成分分析計 AN-700 を、VZC-42 (別売品) + USB-RS232C 変換ケーブル (別売品) を使って接続します。

* USB-RS232C 変換ケーブルは指定のもの (U232-P9) をご使用ください。他のものをご使用になると、トラブルの原因になることがありますのでお勧めしません。

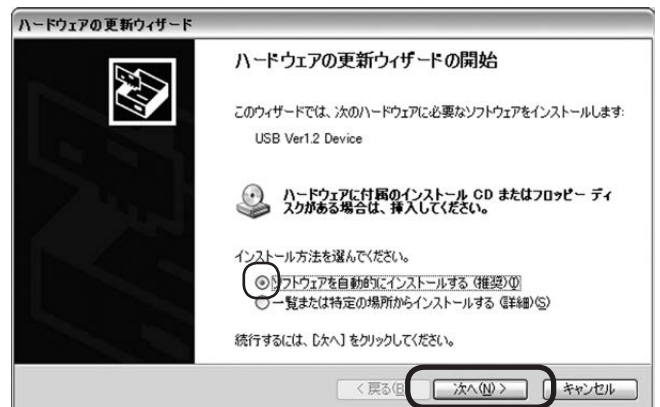
2. AN-700 の設定は不要です。
RN-300/310 の測定と同時に、AN-700 で測定するとデータが Excel に貼り付けられます。測定結果は、AN-700 の測定が終了するまで表示されません。

* AN-700 の測定結果が送られてくるのを待っている間、右の「情報」画面が表示されます。AN-700 の表示部に測定結果が表示されたら [OK] をクリックしてください。



■【ハードウェアの更新ウィザード】が表示されたら (USB-RS232C 変換ケーブル)

1. USB-RS232C 変換ケーブルを差し込んだあと、
[ハードウェア更新ウィザードの開始]、または[新しいハードウェア検索ウィザードの開始] 画面が表示された場合は、「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」を選択し、[次へ] をクリックします。



2. [続行] をクリックしてインストールを続けます。



3. インストール作業が完了すると右の画面が出ますので、[完了] をクリックします。



* USB-RS232C ドライバのインストール時に、「ファイルが必要」画面が表示されたら、保存場所へのパスを入力、または [参照] より指定して、[OK] をクリックしてください。
ドライバの保存場所は、ご使用の製品によって異なります。

【WindowsXP の場合】

C:¥Documents andSetting¥RN300¥WinXP_Drive
¥UCT_Serial232C¥pu232_260¥WinXP

【Windows2000 の場合】

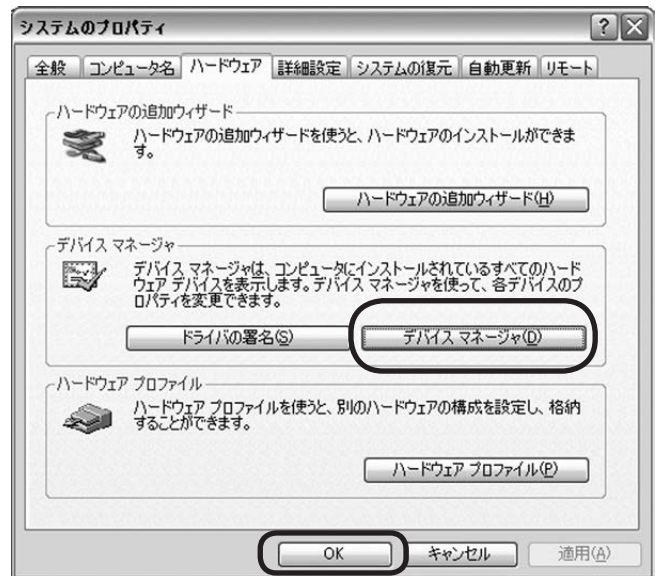
C:¥Documents andSetting¥RN300¥WinXP_Drive
¥UCT_Serial232C¥pu232_260¥Win2K



4. スタート → [コントロールパネル] から [システム] を選択します。

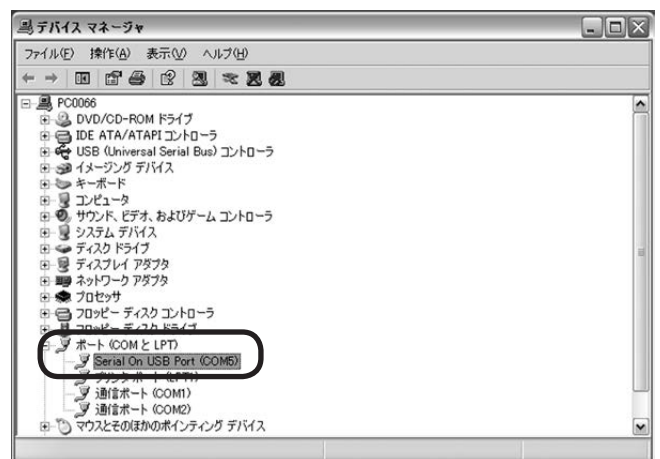


5. [システムのプロパティ] から [デバイスマネージャ] を選択し、[OK] をクリックします。

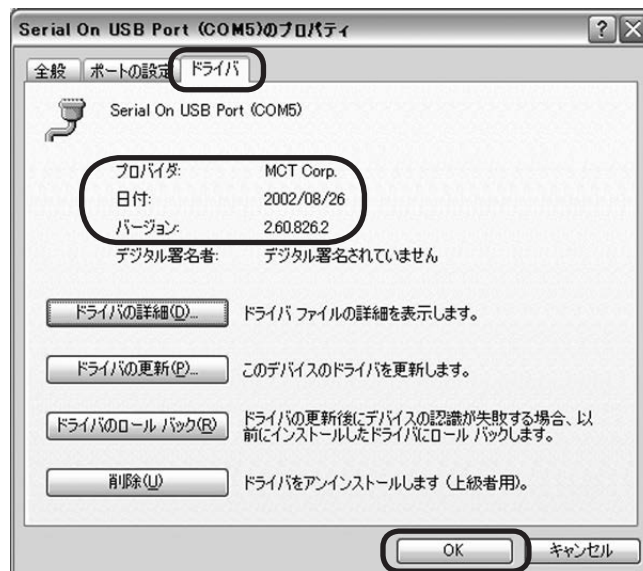


6. [デバイスマネージャ] から、「ポート (COM と LPT)」→「Serial On USB Port(COM**)」を選択し、ダブルクリックします。

* Serial On USB Port(COM**) の番号はパソコンの種類によって異なります。通常は COM4 ~ COM9 の間で変化しますので、ご注意ください。ここでは COM5 に設定されています。



7. [Serial On USB Port(COM**)のプロパティ] 画面が表示されます。「ドライバ」タブをクリックして、プロバイダ「MCT Corp.」、バージョン「2.60...」になっていることを確認し、[OK] をクリックします。



■「Serial On USB Port」のバージョンが「2.60」以下の場合

1. P19 手順 7 で、「Serial On USB Port」のバージョンが「2.60」以下の場合、[ドライバの更新] をクリックして、次の操作を行います。



2. [ハードウェア更新ウィザードの開始]、または[デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始]画面が表示されますので、「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、[次へ] をクリックします。



3. 「検索とインストールのオプションを選んでください。」の画面が表示されますので、「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択して[次へ] をクリックします。



4. 「このハードウェアのためにインストールするデバイス ドライバを選択してください。」の画面が表示されますので、[ディスク使用] ボタンをクリックします。



5. ドライバのファイル場所を指定して、[開く] をクリックします。



* USB-RS232C ドライバの保存場所は、ご使用の製品によって異なります。

【WindowsXP の場合】

C:\¥Documents andSetting¥RN300¥WinXP_Drive
¥UCT_Serial232C¥pu232_260¥WinXP

【Windows2000 の場合】

C:\¥Documents andSetting¥RN300¥WinXP_Drive
¥UCT_Serial232C¥pu232_260¥Win2K

6. ドライバの場所を指定した後は、画面に従って操作を続けてください。

7. システムが更新されたら、P18 手順 4～6 を行います。
[Serial On USB Port(COM**) のプロパティ] 画面で、「ドライバ」タブをクリックして、プロバイダ「MCT Corp.」、バージョン「2.60...」になっていることを確認し、[OK] をクリックします。



5. ファンクションキー (ショートカットキー)

「QualityScan」のボタンをクリックして行う操作を、キーボードで行うための定義のことです。操作の定義を割り当てられたキーを押すことで、それぞれの画面で次のような操作ができます。

■ 起動画面

- F1 認定モード起動
- F2 玄米モード起動
- F3 玄米メンテナンス起動
- F4 終了
- F5 精米モード起動
- F6 精米メンテナンス起動

* F3 と F5 で操作する【メンテナンス】ボタンは、通常の測定では使用しません。このボタンは本器の選別レベルを変更するもので、特別（独自）な検量線を作成したい場合に使用します。その場合は、必ず当社までお問い合わせください。



■ 測定結果画面

- F1 測定
- F2 分析結果切り替え（グラフ→画像）
- F4 戻る
- F5 RNテスト測定
- Ctrl + S Excel csv 保存



■ 測定情報入力画面

- F1 OK
- F4 キャンセル



6. エラーメッセージ

次のエラーメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックして、それぞれの方法に従って確認、処理をしてください。

表 示	確認と処理方法
	AN-800/700 の接続に設定している Com port 番号（ここでは COM5）が存在しません。 P18 手順 4 ～ 6 で使用可能な Com port 番号を調べ、「QualityScan 設定」画面で「Com 番号」を設定しなおしてください。 (⇒ P9『■ QualityScan 設定』参照)
 ↓ 	AN-800 と接続した Com port 番号が、設定している「Com 番号」と違っていています。 P18 手順 4 ～ 6 で AN-800 と接続した Com port 番号を調べ、「QualityScan 設定」画面で「Com 番号」を設定しなおしてください。 (⇒ P9『■ QualityScan 設定』参照)
 ↓ 	① AN-700 の測定データを受信できません。 AN-700 の測定を行なってください。 ② AN-700 と接続した Com port 番号が、設定している「Com 番号」と違っていています。 P18 手順 4 ～ 6 で AN-700 と接続した Com port 番号を調べ、「QualityScan 設定」画面で「Com 番号」を設定しなおしてください。 (⇒ P9『■ QualityScan 設定』参照)

MEMO

Kett

株式会社ケツト科学研究所

東京本社 東京都大田区南馬込1-8-1 〒143-8507 TEL(03)3776-1111 FAX(03)3772-3001
大阪支店 大阪市東淀川区東中島4-4-10 〒533-0033 TEL(06)6323-4581 FAX(06)6323-4585
札幌営業所 札幌市西区八軒一条西3-1-1 〒063-0841 TEL(011)611-9441 FAX(011)631-9866
仙台営業所 仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル 〒980-0802 TEL(022)215-6806 FAX(022)215-6809
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅5-6-18 伊原ビル 〒450-0002 TEL(052)551-2629 FAX(052)561-5677
九州営業所 佐賀県鳥栖市布津原町14-1 布津原ビル 〒841-0053 TEL(0942)84-9011 FAX(0942)84-9012
●URL <http://www.kett.co.jp/> ●E-mail sales@kett.co.jp